



## Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ コマンド

---

- 「server-group radius group」
- 「element ip-address (RADIUS サーバ グループ)」
- 「retransmit-count (RADIUS サーバ グループ)」
- 「retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)」
- 「show status server-group radius」

# server-group radius group

RADIUS サーバ グループを設定し、RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードを開始するには、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **server-group radius group** コマンドを使用します。RADIUS サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**server-group radius group radius\_server local-ipaddress**

**no server-group radius group radius\_server local-ipaddress**

## 構文の説明

<b>radius_server</b>	1 つの RADIUS サーバ グループ名を指定します。
<b>local-ipaddress</b>	プロキシ サーバが RADIUS メッセージを RADIUS サーバに送信するときに使用する、ローカル発信元 IP アドレスを指定します。ローカル IP アドレスは、グループを設定した後は変更できません。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

## コマンド履歴

### Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0 このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、RADIUS サーバ グループを作成します。サーバは、設定された RADIUS サーバを通じてロード バランス アカウンティング メッセージを送信できます。Acct-Session-ID が同じすべてのアカウンティング メッセージは、同じ RADIUS サーバに送られます。



(注)

Cisco Unified SIP Proxy 1.0 では、1 つの RADIUS サーバ グループだけを設定できます。

## 例

次の例では、RADIUS サーバ グループを作成する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group radius_server 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)>
```

次の例では、RADIUS サーバ グループを削除して、そのグループ内のすべての server-group 要素を削除します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> no server-group radius group radius_server 192.168.20.42
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>element ip-address</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成し、その特性を決定 します。
<b>retransmit-timeout</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定します。
<b>show status server-group radius</b>	すべての RADIUS サーバ グループまたは単一の RADIUS サー バ グループのステータスを表示します。

## element ip-address (RADIUS サーバグループ)

RADIUS サーバグループの IP 要素を作成し、その特性を決定するには、RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション モードで **element ip-address** コマンドを使用します。IP 要素を RADIUS サーバグループから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**element ip-address ip-address port shared-secret [q-value q-value]**

**no element ip-address ip-address port**

### 構文の説明

<i>ip-address</i>	サーバグループ要素のインターフェイス ホスト名または IP アドレスを指定します。
<i>port</i>	サーバグループ要素で使用されるポートを指定します。有効な値は 1024 ~ 65535 です。デフォルトポートは、アカウントティングの場合は 1813、認証や権限付与の場合は 1812 です。
<i>shared secret</i>	プロキシと RADIUS サーバグループ要素の間の共有秘密キーを指定します。
<b>q-value q-value</b>	(オプション) サーバグループ内の他の要素に対する、サーバグループ要素のプライオリティを指定する実数を指定します。有効な値は 0.0 ~ 1.0 です。デフォルトは 1.0 です。

### コマンド デフォルト

RADIUS サーバグループの要素は設定されません。

### コマンド モード

RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

### コマンド履歴

#### Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0 このコマンドが追加されました。

### 例

次の例では、RADIUS サーバグループの IP 要素を作成する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> element ip-address 10.1.2.3 1813 cusp-secret
```

次の例では、RADIUS サーバグループから IP 要素を削除する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no element ip-address 10.1.2.3 1813
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>retransmit-count</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信回数値を設定します。
<b>retransmit-timeout</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定します。
<b>server-group radius group</b>	RADIUS サーバ グループを設定し、サーバ グループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

# retransmit-count (RADIUS サーバグループ)

RADIUS サーバグループの再送信回数値を設定するには、Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション モードで **retransmit-count** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**retransmit-count** *count*

**no retransmit-count**

## 構文の説明

*count*

RADIUS サーバに対する RADIUS 要求の許可される再試行回数を指定します。再試行回数が最大に達した後に、成功しなかった応答が RADIUS サーバから取得された場合、RADIUS サーバはアウトオブサービスであるとしてマークされます。デフォルト値は 3 です。

## コマンド デフォルト

再試行回数は 3 回です。

## コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバグループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

## コマンド履歴

**Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容**

1.0

このコマンドが追加されました。

## 例

次の例では、再送信回数を 5 に設定する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> retransmit-count 5
```

次の例では、デフォルトの retransmit-count 値に戻す方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no retransmit-count
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>element ip-address</b> (RADIUS サーバグループ)	RADIUS サーバグループの IP 要素を作成し、その特性を決定します。
<b>retransmit-timeout</b> (RADIUS サーバグループ)	RADIUS サーバグループの再送信タイムアウト値を設定します。
<b>server-group radius group</b>	RADIUS サーバグループを設定し、サーバグループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

# retransmit-timeout (RADIUS サーバ グループ)

RADIUS サーバ グループの再送信タイムアウト値を設定するには、Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードで **retransmit-time** コマンドを使用します。デフォルトの再送信タイムアウト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式または **default** 形式を使用します。

**retransmit-timeout** *timeout*

**no retransmit-timeout**

## 構文の説明

<i>timeout</i>	RADIUS サーバからの応答を待機できる最大時間数 (ミリ秒) を指定します。応答が受信されない場合、サーバを使用不可であると見なすまでに、サーバでは <b>retransmit-count</b> 値の回数まで要求を再実行します。デフォルト値は 500 です。
----------------	--

## コマンド デフォルト

500 ミリ秒

## コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション (cusp-config-radius)

## コマンド履歴

### Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

## 例

次の例では、retransmit-timeout 値を 1000 に設定する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> retransmit-timeout 1000
```

次の例では、デフォルトの retransmit-timeout 値に戻す方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> server-group radius group acct-group 192.168.20.42
se-10-0-0-0(cusp-config-radius)> no retransmit-timeout
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>element ip-address</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの IP 要素を作成し、その特性を決定します。
<b>retransmit-count</b> (RADIUS サーバ グループ)	RADIUS サーバ グループの再送信回数値を設定します。
<b>server-group radius group</b>	RADIUS サーバ グループを設定し、サーバ グループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。

# show status server-group radius

すべての RADIUS サーバグループまたは単一の RADIUS サーバグループのステータスを表示するには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードで **show status server-group radius** コマンドを使用します。

**show status server-group radius** [*server-group-name*]

## 構文の説明

*server-group-name* (オプション) 単一の RADIUS サーバグループのステータスを表示します。

## コマンドモード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)

## コマンド履歴

### Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0 このコマンドが追加されました。

## 例

次の例は、**show status server-group radius** コマンドの出力例です。

```
se-10.0.0.0 (cusp) > show status server-group radius rgl
```

```
Servergroup: radius_server
Address          Secret          Q-Value  Status
192.168.20.6:1813 cusp-secret     1.0      up
192.168.20.7:1813 cusp-secret     1.0      up
se-192-168-20-42 (cusp) >
```

表 6 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 6 show status server-group radius のフィールドの説明

フィールド	説明
Servergroup	RADIUS サーバグループの名前を表示します。
Q-Value	サーバグループ内の他の要素に対する、サーバグループ要素のプライオリティを指定する実数です。
Status	RADIUS サーバグループの動作ステータスを表示します。

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show status server-group sip</b>	すべての SIP サーバグループのステータス、または単一の SIP サーバグループを表示します。